

各位

今年の冬はすっきりしないまま終わってしまいそうです。  
その天候のせいか、  
(水不足が影響したのでしょうか)  
我が家の河津桜は  
元旦から小さな蕾を付けていましたが  
はっきりした満開にならないまま  
散り始めてしまいました。

今月お届けするのは8編です。  
以下は作成順です。

- ・ マスコミの無責任さ (作成 2 / 9)  
もう終息しましたが、大相撲の八百長問題です。  
またもマスコミ批判です。
- ・ 小沢氏の強制起訴 (作成 2 / 9)  
いまだに小沢氏の実行力を評価する方がおられますが、  
実行力を発揮する目的が適切でなければ、  
結果は無意味か有害です。
- ・ 尖閣についてもっと知りましょう！その2 (作成 2 / 9)  
このシリーズ第3弾です。
- ・ 「不合理だからすべてがうまくいく」？ (作成 2 / 13)  
同名書に対するコメントです。  
書名は日本の出版社の捻じ曲げです。  
有意義な主張が見られます。
- ・ ムバラク大統領辞任、なぜねばった？ (作成 2 / 13)  
ムバラク逃亡直前の投稿です。  
今度はカダフィ大佐が頑張っていますが、  
こんなに粘るのは権力欲だけではないだろうという  
推測論です。
- ・ 石原都知事 4選不出馬「日本のために一肌脱ぐ？」 (作成 2 / 27)  
石原ファンである上野の期待論です。
- ・ 牛丼チェーンの戦い (作成 2 / 27)  
牛丼チェーン・ウオッチャーの上野の  
「早い、うまい、安い」の元祖に対する応援論です。
- ・ Sweeperをご存じ？ (作成 2 / 28)  
<http://www.newspt.co.jp/data/sweeper/sweeper.html>

ご関心のあるテーマからお読みいただければと思います。  
今月もよろしく願いいたします。

---

当メルマガは、  
以下の方法でお送りいたしております。  
このメール本文では、「上野則男のメルマガ」のテーマ名だけをお知らせします。  
内容は、以下のいずれかの方法でご覧いただくことができます。

1. 月刊の「上野則男のメルマガ」

このURLで、バックナンバを含めてご覧いただけます。  
<http://www.newspt.co.jp/data/maimaga/mgbk.html>

ブログにアクセスできない方は、こちらでご覧ください。

2. 随時更新される「上野則男のブログ」  
総括の入り口のURLは以下のとおりです。  
<http://uenorio.blogspot.com/>

個別のテーマのURLは、下のテーマ一覧のところに表示しています。

3. 携帯で「上野則男のブログ」をご覧いただくこともできます。  
携帯用のQRコードが、上記の「上野則男のメルマガ」の冒頭部、  
または「上野則男のブログ」の冒頭部右に示されています。  
ご利用ください。

ご意見等につきましては、ブログへの書き込み（なるべくこれをお願いします）か  
当メールへの返信でお願いいたします。

★————— 上野則男のメルマガ —————★

《今号の内容》以下の8編です。ご関心のあるテーマを是非どうぞ！  
以下は作成の新しい順番でございます。  
（表示しているのはブログのURLです）

- マスコミの無責任さ  
<http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post.html>
- 小沢氏の強制起訴  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_09.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_09.html)
- 尖閣についてもっと知りましょう！  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_6354.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_6354.html)
- 「不合理だからすべてがうまくいく」？  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_13.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_13.html)
- ムバラク大統領辞任、なぜねばった？  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_4262.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_4262.html)
- 石原都知事 4選不出馬「日本のために一肌脱ぐ？」  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_27.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_27.html)
- 牛丼チェーンの戦い  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_1469.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_1469.html)
- Sweeperってご存じ？  
<http://uenorio.blogspot.com/2011/03/blog-post.html>

★————— No. 30 11年3月 ————★

- マスコミの無責任さ  
<http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post.html>

相撲界の八百長のことが新聞・雑誌・テレビを  
毎日賑わせています。

確かに、八百長は良くないことです。  
八百長なしで常に真剣勝負でいって欲しいものです。

しかし、マスコミが騒ぎたてれば、日本の国技と言われているスポーツのファンが減り国技が衰退していくではないですか！  
落ち目の日本にとって、その衰退が良い結果を生むとはとても思えません。

マスコミ関係者は、そのことを自覚しているのでしょうか。「国民」「視聴者」が関心を持ちそうだから、という理由でどんどん、面白おかしく取材・報道してよいものなのでしょうか。

私は、相撲ファンではありません。しかし、現状のマスコミの報道姿勢に対しては憤激にたえません。

マスコミ界は、自分たちの言動に対してもっと見識や責任感を持っていただきたいと思います。

---

#### ■ 小沢氏の強制起訴

[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_09.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_09.html)

予定どおり小沢氏は、強制起訴されました。小沢氏に対しては、実行力があると評価する人が小沢ファミリーだけでなく、一般市民にもいます。

確かにそのとおりでしょう。多額の資金を集めて子分たちに配分したりするのですから。親からのお金を当てにする人材とは異なります。

ですが、実行力も大事ですが、もっと大事なものがあるでしょう。泥棒やマフィアの実行力は、評価できますか？

理念・価値観・倫理感が重要です。何のための実行かということです。

小沢氏は、ご存じのように09年暮れに500人を引き連れて中国を訪問しました。これは朝貢もどきではないですか。国辱ものです。

日本にとってどういう意義があったのでしょうか。おそらく、これからの世界は中国主導となる、と読んでの先行利得を獲得しようとしたのではないのでしょうか。

現在、そのような行動をとることが、中国と日本の関係にどのような悪影響を及ぼすかということをお慮したのでょうか。

行動の先に意識があります。意識で考える目的が行動の価値を決めるのです。目的がおかしければ行動は無価値です。

野中郁次郎先生は、最新刊「イノベーションの知恵」（日経BP社）で「目的」×「手段」×「行動」が価値を生むという

「実践的三段論法」を提起されていました。

目的がおかしければ、行動は無意味なのです。  
有害かもしれません。

そのような小沢氏に期待しなければならないほど  
日本の政界も人材不足ということです。

嘆いている場合ではありません。  
どんどん、日本の評価が下がっていつているのです。  
一刻も早く、  
経験もあり見識もある方が  
日本の政界に登場していただきたいものです。

- 
- 尖閣についてもっと知りましょう！  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_6354.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_6354.html)

私は、2010年12月12日の  
「尖閣諸島についてもっと知りましょう」というタイトルで  
明治20年代に古賀辰四郎氏が尖閣諸島を  
国から正式に貸与を受けて  
資源を活用した、旨をご紹介します。

今回、「中国はなぜ尖閣を取りに来るのか」（自由社）  
を読みました。  
尖閣問題を研究したい方には  
格好の情報源となります。

本書には、（太平洋戦争の）戦前、  
尖閣諸島で最も大きな魚釣島には248人が居住していた、  
ことも記載されています。

この中で、私の友人である茂木弘道氏  
（「史実を世界に発信する会」事務局長）が  
以下のような「史実」を紹介していました。

---

尖閣諸島は中国の福州からは420キロ  
台湾の基隆（キールン）から190キロ  
石垣島から170キロに散在する小島群である。

昔は人跡未踏であった。  
しかし、琉球から中国あるいは安南・ルソン・ジャバ  
などの南の国々への航路の標識島として大事な島であり  
古地図に登場する。

安政6年（1859年）美里間切（みさとまぎり）の役人である  
大城永保が、赤尾嶼、久場島、魚釣島の3島に接岸して  
地勢、植物、鳥類などを実地調査をした。  
その結果を、  
沖縄県役人石沢兵吾が県令に報告をしている。

---

この後が、前回の古賀氏の活動につながっていくのです。  
前回の事実は1880年代ですが、  
今回の件はそこから20年ほど遡ったということです。

---

■ 「不合理だからすべてがうまくいく」？

[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_13.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_13.html)

ダン・アリエリーという米国デューク大学行動経済学の教授の書いたこのタイトルの本を読みました。

人間の行動は合理性に基づいているとは限らない、むしろ非合理の面が多いのだ、ということを主張しています。

その非合理性の論点は以下のとおりです。  
なうほどと思うことが多いです。

1. 高い報酬は逆効果を生む（ストレスの影響で）
2. 喜びが得られない仕事は真剣に取り組まれない
3. 自分で作ったものを過大評価する（イケア効果と名付け）
4. 自分で生み出したアイデアを高く評価してしまう
5. 復讐は人間の奥深い本能だ（軽視してはいけない）
6. 人生を変えるほどの大きなできごとにも順応してしまう（ゆでガエル現象）
7. 人間の不合理な性質を考慮に入れない  
商品やサービスは必ず失敗する
8. 人は大勢の苦しみより、一人の苦しみの方に  
心を動かされるようにできている
9. 感情がすぐ消えるが、いつときの感情にまかせた決定が  
長い間にわたって行動を左右することがある

この本の序章で著者はこう言っています。

「やるべきことを先延ばしにしたことなんかない」  
という人はいないだろう。  
長期的な目標のために短期的な犠牲を払えない例は  
どこにでも転がっているということだ。

（上野注：やるべきことは  
意義があるからやるべきと思うのですが、  
やることには負担や苦痛を伴います。  
この負担や苦痛に負けてしまうのです）

この点は、私たちが「価値目標思考」で  
主張している点と同じです。

価値ある目標を実現したい、  
例えば体重を減らして健康になる、美しくなる、  
とは誰しも思う。  
しかしそのためには、ダイエットをする、運動をする、  
という苦行をしなければならない。  
目標を強く意識できる人は  
苦行に耐えられるけれど、  
その意識を強く持たない人は挫折してしまう  
（三日坊主です）。

ここまでは、普通の主張でしょう。  
ところが、この著者は自分の経験から  
苦行を乗り越えるための  
たいへんいいヒントを述べています。

著者はC型肝炎に罹り、この治療で  
インタフェロンを注射しなければなりませんでした。  
この注射はたいへんな副作用  
（猛烈な頭痛や吐き気等）があります。

著者はその副作用のひどい時間に  
自分の好きな映画のCDを観ることにしました。  
こうして18カ月後にこの治療は成功したのです。

つまり、普通の人間は、  
長期的な目標だけでは自制できなくて、  
苦行には楽しみや喜びがついていないとだめだ、  
というのです。

なるほどそうです。  
私は健康維持のために  
50年近くも朝のジョギングをしています、  
走る時に周りの風物の変化や人間特に女性の動きを  
見るのを楽しみにしています。  
ルームランナだったら1週間も続かないでしょう。

英会話を自習するテープの類もそうですね。  
通信教育もそうです。  
よほどのインセンティブないと継続できません。  
私も過去、通信教育は完了したことはありませんでした。

ということで、今後は  
「WHY（目的・ねらい、価値目標）を達成しようとする  
HOW（苦行）を実施するときには、  
その苦行に楽しみが伴う工夫をすべきです」  
とガイドすることにします。

---

■ ムバラク大統領辞任、なぜねばった？  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_4262.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_4262.html)

2月12日、9月まで辞任しないという  
意思表示から一転辞任に至りました。

ここまで、100万人デモを何度もかけられながら  
しつこく、辞任を拒否してきた理由は  
単なる権力欲だけとは思えません。

28年間にも亘りトップに君臨してきたのであれば、  
違法な私腹肥やしなどもあったでしょう。  
それをうまく工作するための時間が  
ほしかったのではないのでしょうか。

間もなく、そのことは明らかになるでしょう。

短期迷走政権も困りますが、  
長期独裁政権はダメですね。

---

■ 石原都知事 4選不出馬「日本のために一肌脱ぐ？」  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_27.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_27.html)

ワタミの創業者渡邊美樹氏も出馬する次の都知事選に  
石原現知事の動向が注目を集めています。  
ご存じのとおり、  
本人は出るとも出ないとも意思表示しておられません。

石原都知事は、2月27日東京マラソンのスタート前に8チャンネルに登場しました。よくこの企画が実現できたな、と感心しました。

ですが、その時にも明確な意思表示はありませんでした。

この時の  
「人間は同じことを何回もやっては駄目だ。  
人心もうんでくる。やってる当人もだれてくる」  
との発言を受けて、不出馬か？  
という推測が流れているようです。

私は、  
この時の15分くらいの司会者とのやりとりを聞いていて  
不出馬だ、と思いました。

その理由は、上記の消極的な理由ではなく、  
「日本のために」もっとやるべきことがある、  
とのお考えからだろう、と思いました。

都知事の日本思いには  
以前から私も共鳴していて、  
こういう方に日本をリードしてもらいたい、  
とっていました。

本当に、今の日本は情けない状態です。  
中国やロシアから舐められているのが、  
その最たる象徴です。

日本の方向性について定見のない政権には  
早く退場してもらわなければなりません。

石原都知事は、自らが都の長から国の長になる  
気はないようでした。

（亀井静香氏に  
「いつまでも田舎大名やっているんじゃない！」  
と言われたそうです。  
都知事は  
「君は田舎侍ではないか」と切り返したのですって）

ですが、まともな政治の確立に力を注ぎたいという意向は  
強く示されていました。

因みに、石原都知事はこの番組で  
輿石東氏（民主党参議院議員会長）のことを聞かれて  
不愉快な顔をして  
「彼は日教組出身でしょう。  
日教組は戦後の日本の間違った思考形成に  
大きな責任がある」と明快に切り捨てていました。

とにかく、日本沈没を防ぐのに  
残された時間はあまりありません。  
見識ある方に頑張ってください、ですね。

因みに、  
東京都知事は渡邊美樹氏にやっていただいたら  
いいですね。  
東国原知事や橋下知事と違って  
会社経営で成功した方ですから、

その経験で東京都を経営していただけたら  
どうなるのか非常に楽しみです。

---

#### ■ 牛丼チェーンの戦い

[http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_1469.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/02/blog-post_1469.html)

牛丼チェーンのゼンショー（すき家）、吉野家、松屋  
3社は、低価格競争をしながら、  
10年4～12月期でいずれも増益となっています。

ご存じですか？

牛丼チェーンの元祖吉野家は、売上高で、  
ゼンショーに2倍以上の水を開けられているのですよ。  
（10年4～12月で、2792億円対1290億円）

逆転のきっかけは、約10年前の  
狂牛病発生に伴う米国産牛肉の輸入禁止でした。

吉野家は従来からの輸入チャネルの牛肉でないと、  
牛丼の味が維持できないとして  
牛肉在庫切れと共に牛丼の提供を中止しました。

他の牛丼チェーンはオーストラリア等に輸入先を切り替えて  
牛丼を提供し、吉野家の牙城を突き破ったのです。

吉野家の安部社長のこだわりは  
吉野家ファンにとっては納得のいくものだったのですが、  
単なる牛丼ファンにとっては  
そこまでのこだわりはなかったのでしょう。

吉野家の現在のモットーは  
「うまい、やすい、はやい」です。  
たしか創業時は「早い、安い、うまい」だったのです。  
「うまい」はそれほど売りでなかったのですが、  
いつのころからか「うまい」で勝負するようになったのです。

「うまい」での勝負は、商品の競争として本命です。  
しかし、消費者は多様です。  
もしこのまま、吉野家が敗退することになれば、  
「吉野家は、自社の商品にこだわり過ぎて  
価値観の多様化時代に対応できなかった」  
ということになるのでしょうか。

吉野家も低価格競争に参戦するために、  
280円の牛鍋丼を出しています。  
これは、牛肉の量を減らして豆腐やしらすき等を入れて  
コストダウンをしているメニューです。

結構、集客力を持っているようです。  
あくまで、現状のコスト構造の上で  
コスト割れは起こさない、という方針が見え見えです。

すき家の作戦は違います。  
低価格メニューを集客に使う  
セットメニューや他のメニューで採算を取ろう、  
という作戦です。

最近、



小伝馬町の当社の近くに「すき家」が出店しました。  
私も何回か「視察」で食べにいきました。

分かったことがいくつかあります。

1. メニューが豊富です。  
何を食べようかと楽しみになります。  
組み合わせを含めると優に100種類を超えます。
2. 基本の牛丼は280円ですが、  
セットメニューや他の商品売り込みで  
客単価増に必死です。  
280円の牛丼を食べに来たお客様に  
もっと高い商品売り込んで客単価増を狙うのです。

私の3回の客単価は平均500円でした。

3. 牛丼の味は吉野家の方が上です。  
これは好みですから絶対的な基準はないでしょう。  
たれも煮込みの程度もやはり本家为上と思いました。

ところで、すき屋は目下、牛丼にだし汁をかけて食べる  
「牛まぶし」を盛んに宣伝しています。  
これも客単価アップ作戦の一環で  
このメニューは480円です。

乗せられて食べてみました。  
なかなかの味でした。  
しかし、気に入らないことがありました。

「さらさらと食べる」といううたい文句ですが、  
ドンブリのヘリが反り返っているものを使っているので、  
うまく口に啜えられません。

テレビのCMではレンゲを使って食べているようですが、  
これでは「さらさら」になりません。

メニュー開発者は  
料理を食べて「これはいける」と  
GOサインを出したのでしょうか、  
食器との組み合わせはどの段階で誰が決めたのでしょうか？

「サラサラと食べられるかどうか食べてみる！」  
と言いたいです。

美味しく食べるという目的の追求が不十分なのです。

トヨタが米国で起こしたアクセルペダルとフロアマットの  
不適合によるリコール事件と同じことです。

全体設計者が必要なのです。

吉野家に話を戻します。

当社で勤めている価値目標思考では、  
何かを実現しようとする時の目標である  
価値目標の基本は「早い、うまい、安い」  
だと言っています。

現在の社会の激動・流動時代には、  
とにかく「早く」ないと、競争の土俵に上がりません。

それからお客様の好みに合う「うまい」です。  
そうして、同じものなら「安い」のがよい、  
という意味です。

この「早い、うまい、安い」は  
英語では、Q C D (Quality, Cost, Delivery) ですが、  
吉野家に習ってこうしたのです。

吉野家も時代に合わせて、  
3者の順番を変えているようです。

ついでに近くの松屋にも行ってみました。  
なんと、松屋は事前にチケットを買う方式なのです。  
これだと、吉野家がやっている追っかけ注文  
（「これも追加してみようかな」と頼む）は  
期待できません。  
チケット販売機の制約上、  
メニューが固定的になりやすいでしょうし。

この松屋、結構健闘しているということです。  
量は多いようでしたが、何が売りなのか。  
よく分かりませんでした。

こうして、すき屋、松屋と比較すると、  
吉野家の店は元気さが足りない、  
明るくない印象です。なぜでしょうか。

牛丼競争の行く末はたいへん興味があります。  
本家吉野家さんに頑張っていたきたいものです。

---

#### ■ Sweeperってご存じ？

<http://uenorio.blogspot.com/2011/03/blog-post.html>

サッカーファンならご存じでしょう。  
私は、サッカーを知らないのでWikipediaを見ました。  
そうしたら、以下のような解説がありました。

スウィーパー（英: Sweeper）とは特定のマークを持たず、  
ストッパーの選手が抜かれたときのカバーリングや  
2列目から飛び出してきたMFの選手に対する守備などを行う  
ポジションである。  
以前はカバーリングなどを行う為に  
ストッパーの選手の後方に位置することが多かったが、  
ディフェンスラインをフラットに保ち、  
ラインの高さをコントロールすることが重要視される現在では  
ストッパーと並び横一列になる場合が多い。

要するに、  
守備の機動力で、最後の守りを固めるのが役割のようです。  
攻撃を「スウィープする（一掃する）」が語源のようです。

ですが、ここでご紹介するのは、別のS w e e p e rです。  
SoftWare Enhancement Evolution Professional ExecuteR  
の略で、ソフトウェアのエンハンスメント（保守）の改革を  
推進するプロフェッショナルで、  
保守業務をスウィープする（きれいにする）のです。

これは当社の造語です。  
このプロフェッショナルを本格的に養成する半年講座を

今年6月から始めようと準備中です。

その趣旨は以下のとおりです。

- ・ ソフトウェア保守業務は、  
今や開発保守業務の中で7割前後の比率を占める  
重要な業務である。  
(私は、2010年以後は保守の時代である、  
2010年までの30年間は開発の時代だった、  
と言っています)
- ・ これが滞ったりミスが発生したりすると、  
ビジネスに重大な影響をもたらす。
- ・ それにもかかわらず、  
保守業務の系統的な改善はほとんどされてきていない。
- ・ その原因は、  
その改善に取り組む専門的なスタッフがいないからである。  
(さらにその原因は、  
経営者・責任者がこの改善を重視しなかったからである)
- ・ 改善に取り組めば「宝の山」状態で、  
大きな成果が期待できる。
- ・ そこで、日本の衆知を結集して、  
保守業務の改善をミッションとするプロフェッショナルを  
育成しよう。
- ・ この講座は、単なるお勉強講座ではなく、  
保守業務の改善・改革を実践・推進できる人材の養成  
を目的とします。

この事業は社会的にも非常に大きな意義のあるものである、  
と信じています。

ご関心のある方は、以下のURLをご参照ください。  
<http://www.newspt.co.jp/data/sweeper/sweeper.html>

---

【弊社からのお知らせ 目次および開催日程】  
<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

- ▼ 保守業務の革新研究トップセミナー  
～保守コストの半減を目指して～ . . . . . 3/9
- ▼ システム分析・企画コース . . . . . 2011年度のご案内

- 
- ▼ 保守業務の革新研究セミナー  
～保守コストの半減を目指して～ . . . . . 3/9

◆3月9日(水) 14:00~19:00

「保守業務の革新研究セミナー」～保守コストの半減を目指して～  
<http://www.newspt.co.jp/data/semina/tops.html>

対象者：情報システム・IT部門長殿、

およびそのご推薦の方で保守業務の改善にご関心のある方  
参加費：無料

---

▼ 2011年度システム分析・企画コースのご案内

- ◆2011年 6月23日（木）～24日（金）
- 2011年11月17日（木）～18日（金）
- 2012年 2月 7日（火）～ 8日（水）

<http://www.newspt.co.jp/data/kensyu/open/f11.html>

内 容：システムの問題分析からシステム企画提案書作成に至る各種手法  
対象者：職務経験3年以上の方、その他の制限はありません。  
時 間：9:30～18:00

参加費：81,900円（テキスト代、・e-learning・税込み）

---

お申し込み・お問い合わせにつきましては本メールへの返信あるいは  
弊社HPよりお願いいたします。



<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

☆☆アドレス変更・送信停止等は本メールへの返信にてお願いします☆☆

=====

システム企画研修株式会社

Tel : 03-5695-3130、Fax : 03-5695-3131

〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町16-2 東事協ビル2F

[mind-pc@newspt.co.jp](mailto:mind-pc@newspt.co.jp)

<http://www.newspt.co.jp>

=====